

### 「成果」を着眼点とした検証改善サイクルに基づいた実践

県教育委員会では、児童生徒の学力向上に向けた取組の一つとして、「全職員による共通理解と共通実践」を掲げています。今回は、佐賀県内で特徴的な校内研修の取組を行っている千代田西部小学校の田中校長先生と福田指導教諭にインタビューをしてきましたので、その内容を御報告します。

#### 千代田西部小学校の取組の内容

##### 【「成果」に着目した検証改善サイクル】

- ① 「成果」の共有
  - ② 取組(要因)の共有、取組の質的改善
  - ③ 実践
- ※①に戻る

子どもも教師も  
自ら動く西部小



【田中校長先生】

【福田指導教諭】

#### ◆ スキルタイム

- ①②4月：赴任者はスキルタイムの参観を行い、スキルタイムで目指す児童の姿を共有し、育成のための具体的な方法を学ぶ。
- ③全校で取り組む。  
週3回、朝の15分間。  
管理職を含めた全職員で指導する。  
＜今年度の重点＞
  - ・漢字の先取り指導（読解力の基礎づくり）
  - ・百マス計算（引き算、わり算の強化）
  - ・音読（暗唱力の向上）
- ①②10月、11月：6・5年生のスキルタイムを公開する。児童が他学年のスキルタイムを参観し感想交流することで、実践の成果を共有し、取組の質の向上を図る。
- ③全校で取り組む。

#### ◆ 校内研究

- ①②研究主任が校内研究のテーマに沿った授業のモデルを示し、積み重ねてきた実践の成果を共有する。
- ③ 全員授業公開及び研究協議会において、実践の評価、振り返りを行い、研究の質の向上を図る。  
＜今年度の重点＞
  - ・視点を設けた学習の振り返り
  - ・見方・考え方を働かせる「問い返し」
- ①②学校だよりで校長の講評を紹介し、保護者や地域の方を含めて実践の成果を共有し、取組の継続、強化を図る。
- ③ 実践

#### 田中校長先生・福田指導教諭へインタビュー

##### Q1 学力向上を意識して、どのような取組をされていますか。

A1 「ほめるからはじめる、はじまる」を意識しています。課題ではなく、成果に目を向け、みんなで取組の価値付けを行っています。子どもの活動に対しても同じ考えです。

##### Q2 具体的にはどのような取組を行われていますか。

A2 学力向上の素地となる「9ポイント（※次頁参照）」を作成し、学校全体で検証改善サイクルに基づいて取り組んでいます。それぞれの取組について、年度当初に全職員で共通理解し、共通実践をしています。そして、随時、実践の成果を共有することからはじめ、既存の取組のバージョンアップ、ブラッシュアップをしながら質の向上を図っています。

##### Q3 どのような成果がありましたか。

A3 この取組を行って3年になります。児童の学習状況の改善が見られたことと、全校児童みんなが元気に登校し、落ち着いた学校生活を送ることができていることが大きな成果です。

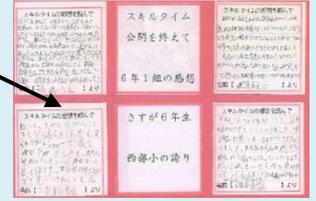
## 千代田西部小学校の取組で使われている資料等

### 「9 points」とは

・令和3・4年度の学習状況調査結果から見た身に付けさせたい力（速くたくさん読む力、書く力、四則計算の力、基礎的な数理）を基に決定をした、「家庭と連携しながら全職員で取り組む9つの項目」のこと

5・6年生がモデルとなり、「スキルタイム」を公開し、他学年の児童が取組の様子を参観する。参観後は、感想交流を行い、活動の振り返りを共有することで、自己の学びを自覚し、さらなる質の向上につなげる。

（前略）私たちがやっているスキルタイムはとても難しいけれど、観られることで、どんどんレベルアップしてきました。



「スキルタイムの感想」

### 「R5 西部小学校学力向上の素地 9 points」(R5版)

<b>漢字先取り指導</b> <b>読解力の基礎づくり</b> ・2学期までに習熟まで終了 3学期は次学年の読み ・熟語の練習に挑戦 <各担任>	<b>百マス計算 四則計算の向上</b> ・百マス計算2分を目指す。 ・引き算の強化を中心にする。 ・10の繰り下がり克服 ・4年以上は百割へ <各担任>	<b>音読 暗唱力の向上</b> ・暗唱を目指す。 ・11月の暗唱大会を意識して継続して取り組む。 ・古典、漢文に挑戦 <各担任>
<b>NIE ノート語彙の拡充や社会事象への興味関心</b> ・月に1度は新聞にふれる ・言葉調べや意見文作成など、学年に応じ新聞を活用する。 <各担任・校長>	<b>家庭学習</b> ●毎日勉強をする ●土日も学習をする ●学年×10分+10分 ●家庭学習週間 年3回 <各担任・学力CO>	<b>読書の充実 読解力の基礎づくり、豊かな心の醸成</b> ・100冊(80%) & おすすめ30選(90%)の読破 ・朝読書の継続(文字) <各担任・図書担当>
<b>西部っ子ニュース</b> <b>全員の書く力を伸ばす</b> ・毎月1日 A5ミニ作文 ・漢字使用数 学年×10字 学年×20字(大シール) <各担任・校長>	<b>校内研</b> <b>深い学びをもたらす授業づくり</b> ・理論研究 ・全員研究授業 ・全教科で取り入れる <各担任・研究主任>	<b>たったこれだけ</b> <b>基礎的事項の習得</b> ・反復学習 ・予習としての活用 ・自学としての活用 <各担任>



【スキルタイム相互参観】



【音読(古典、漢文)】



【西部っ子暗唱発表会】

「西部っ子ニュース」において、全学年で、月1回、テーマ作文に取り組み、書く活動の充実を図る。校長が全児童の作文を読み、一人一人の作文にコメントを書いて全校掲示を行う。そうすることで、子どもの意欲や文章を書く力を高め、表現力の育成を図る。



「西部っ子ニュース」

「学校だより」において、校長が全体授業研究会の様子や授業の成果を紹介する。校内だけではなく、家庭や地域にも校内研究の様子をお知らせすることで、学校や家庭、地域が連携して学力向上に取り組む。

・全員が前向きに授業に向かっているところがとても良かったです。  
 ・簡単なようで学級経営がきちんとできていないと、今回の授業のような小グループの話し合いの活動は成立しません。  
 ・0年生は人前で発表できる子ども達が増えてきているので、この力をさらに伸ばしてほしいです。



「学校だより(せんだん)」

### 千代田西部小学校の取組については、直接学校までお問合せください。

今回のインタビュー内容はいかがでしたか。「もっと千代田西部小学校の取組を知りたい!」と思われる場合は、田中校長先生に直接お尋ねください。

TEL (0952-44-2338) mail アドレス (tanaka-hiroko3@education.saga.jp)

次回の「実践紹介シリーズ」では、「校内研修等の充実」の取組事例をお届けします。どうぞ楽しみに!